

Fine応援メッセージ

女性と再就職活動

いずみさの女性センターネットワーク(IWN)グループ
みんなで男女共同参画について語りあおう!

Fine

(NO.31)

いずみさの女性センターだより

いずみさの男女共同参画つうしん

みんなで 男女共同参画について 語りあおう!

男女共同参画社会基本法が施行されてから11年目の年を迎えました。
ふり返れば、20世紀後半からの女性の社会進出は、めざましいものがありました。
従来は女性の分野とされていなかったところで活躍する女性も、多くなりました。
内閣府の意識調査からは、結婚・出産しても働き続けたいと思っている女性は増加傾向にあります。
しかし、「仕事か、家庭か」を選択せざるをえない状況はまだ存在しており、
いぜんとして家事・育児・介護の負担は女性たちに重くのしかかっているのではないのでしょうか。
近年、男性の料理教室がはやり、「男性も子育てを楽しもう!」という動きが盛んになっています。
「会社人間としてしか生きる選択がない」ということではなく、
「仕事も家庭も大切にしてくる男性像」が一般的になってくるとすれば喜ばしいことです。
これからは「男だから...女だから...こうあらねばならない」ではなく、
男女が「仕事も、家庭も」そして「地域活動も」ともに、責任を分かち合い、
喜びも分かち合うということが大切なのではないのでしょうか。
「男女共同参画社会」とは男女のいずれもが個性と能力を発揮できうる社会のことです。
この社会の主人公となるのは、今を生きている私たちです。
あなたも“いずみさの女性センター”で
身近なことから「男女共同参画」について考えてみませんか。



ワイワイおしゃべり
フェスティバルより

女性と再就職活動

財団法人 21世紀職業財団をたずねて

結婚・出産を機に仕事を辞めてしまったけれど「もう一度働きたい!」という女性が多くなっています。

そこで(財)21世紀職業財団で女性の再就職支援を担当されている原之園亜紀さんにお話をうかがいました。

Q1. 21世紀職業財団とは
どんなところですか

「働く女性の活躍支援」や「仕事と生活の両立(ワーク・ライフ・バランス)の支援」「短時間労働者と正社員との均衡待遇の推進」「ハラスメントのない職場づくり」を推進するための事業を行っています。その中で私は、「子育てや介護を理由に退職された方の『再就職』をバックアップする」事業を担当していました。しかし、残念なことにこの再就職希望者支援事業は平成22年3月末で廃止されることになりました。

Q4. 再就職の困難な時代ですが、
成功された例についてご紹介ください。

事務職での再就職を希望される方が多いのですが、必ずしもご本人の適性にマッチしていない時もあるようです。先日も「事務職で」とこだわりを持っておられて、なかなか就職に至らなかった方がいらっしゃいました。しかし、当財団のカウンセラーとの対話の中で「食に関する仕事」に関心があるとお気づきになり「飲食店」に勤務することになりました。「好きな仕事なので楽しく、日々勉強になります」と報告して下さいました。

Q2. それはとても残念なことですね。
それでは、今までのさまざまなご経験の中から、今後再就職を希望される方にぜひ参考にしていただきたいことなどを、お聞かせください。

就労の場からしばらく離れていた方は、何から始めたらいいのかわからず、とまどわれることが多いのではないのでしょうか。求人情報やハローワークの利用を思いつかれるかもしれません。しかし、何件も履歴書を送り、なんとか面接までこぎつけたとしても就職に至らないこともあり、ショックを受ける方も多そうです。私たちがおすすめしたいのは、就職活動をはじめの前に一度、「自分自身を見つめ直す」時間を持つということです。

Q5. これから再就職を目指す皆さんに
メッセージをお願いします。

「子どもが小さくて何もできない」「年齢が高くて雇ってくれない」と、あきらめる前に、「自分は何がしたいのか・何ができるのか」について見つめ直し、今だからできることを見つけてほしいと思います。

Q3. それは具体的にどういうことですか？

「なぜ仕事をしたいと思うのか」「自分はどのような仕事をしたいのか」「自分は何が得意または苦手なのか」「家族の協力をどう得るのか」などを、具体的に考えていくことです。また、退職したあとのブランクが長いことを不安に思われる方も多いようですが、この時期に子育てや地域活動などを通じて自分が得たものは何かについても考えてみましょう。若いころには気づかなかったけれど、自分の長所・得意分野を新たに見いだすということがあるかもしれません。

ありがとうございました。

21世紀職業財団ホームページ

<http://www.jiwe.or.jp>

いずみさの女性センターネットワーク (IWN) グループの紹介

いずみさの女性センターネットワーク (IWN) とは、いずみさの女性センターを拠点として活動している自主活動グループの集まりです。年に1度の「ワイワイおしゃべりフェスティバル」でグループ間の交流や成果発表をおこなうほか、市が行う人権啓発行事にも積極的に参加しています。各グループへのご入会、ご見学は大歓迎です。お気軽に女性センターへお問い合わせ下さい。

女と男のクッキングナイト



女性と男性と合わせて10人ぐらいが集まり、アットホームな雰囲気の中で、ワイワイ楽しく料理を作っています。地元特産の素材を使った料理に取り組んでいます。

NPO法人保育サポーターグループ・チョコキ・パー



送迎一時預かりなどの保育サポートを有償で行っています。平成20年11月からは、「いずみさのファミリー・サポート・センター」の委託を受けました。

color friends-カラーフレンズ-



「楽しみながら気楽に」色について学んでいこうというグループです。色彩検定2級を取得したメンバーを中心に学習しています。

エンパワーズ



だれもが自分らしく生きることができ、お互いを認め合える社会づくりを目指し、自分たちができることをやっぴいこう!という活動グループです。

その他のIWNグループ

● スプリング ● ウィークエンドサロン ● アフタークラブ ● ウィズ ● グループ「てる」

いずみさの 女性センターだより

“国際ソロプチミスト大阪ーりんくう”のみなさま
ご協力ありがとうございました！

“国際ソロプチミスト大阪ーりんくう”のみなさまには、平成20年6月と平成21年11月にいずみさの女性センターが行った『女性のための特設法律相談』に対し、多くのご支援をいただきました。会長さんにソロプチミストの活動と当センターと共催に至った経緯についてお話をうかがいました。



“ソロプチミスト”とは、ラテン語でSOROR(姉妹)とOPTIMA(最善)という言葉からなり、「女性にとって最善のもの」を意味します。国際ソロプチミストは、国連にも諮問的権利をもって参加する“有職女性たちで組織された世界最大の奉仕団体”です。私たち“国際ソロプチミスト大阪ーりんくう”も、おもに女性問題・青少年育成・環境問題・国際親善等のボランティア活動に対する援助のため、毎年地域の方々の協力を得てチャリティー活動を行っています。

近年、ドメスティック・バイオレンス(DV)が大

きな社会問題となっていることに対し、私たちが心痛むものがありました。そんな折、この問題と離婚に焦点をあて、矢倉昌子弁護士による『特設法律相談』をしたいといずみさの女性センターからお申し出がありました。悩みを抱える女性の問題解決の糸口になれば私たちにとっても意義のある活動となります。おかげさまで「女性の視点からのアドバイスは安心して心強い」とのご感想をいただき、何よりのことと喜んでおります。これからも、会員一同協力して社会的に有意義な活動をしていきたいと思っています。

BOOKS RECOMMENDED おすすめ本紹介



信田 さよ子 著
1,700円＋税
(女性センター所蔵)

母が重くてたまらない — 墓守娘の嘆き —

母がうとうしい！ 私のために思って、こんなにいろいろしてくれるのに、私って恩知らずなのかな…。
そんな女性にお勧めしたいのがこの本です。母との関係に悩む娘は少なくありません。決して悪意からではなく「母の愛」の名のもと、巧妙に娘の生き方を支配し侵食する母。その構造が解き明かされていきます。実は母親だけが非難されるべきでなく、家

族の中で父親(夫)がどのような存在であるかがこの問題の大きなカギ。「居ながらにして不在」の夫への怒り、あきらめ、失望と恨みが、娘との関係性に影を落としていたりします。カウンセラーである著者は、母娘問題の事例を紹介し母親像を分析したうえで母親・父親・娘の三者へ処方箋を示してくれます。女性ばかりでなく男性にも手に取ってほしい一冊です。(辻 淳子)

Information

お知らせ

1. ご存じですか？

開館日・休館日

開館日・時間
火～土曜日 午前9時～午後5時
(ただし、第4木曜日は午後8時まで)

休館日
日・月曜日
(日・月曜日が祝日と重なった場合は翌火曜日休みです)
国民の祝日
年末年始(12月30日～1月4日)

2. 登録グループを募集しています

現在、女性センターには9つのグループが登録しています。登録グループには、活動場所や活動していくために必要な情報の提供を行っています。男女共同参画に関する活動をしているグループは登録しませんか。

3. 本を貸し出しています

「男女共同参画」や「男女平等」をキーワードにして、子育てや生き方、仕事、心やからだに関する本の貸出しを行っています。国や自治体が出している統計資料やリーフレットなども見いただけます。

編集後記

先日、いずみさの女性センターネットワーク会議で「女性センターの原点を見つめ直そうよ」「もっと交流しようよ」という声があがりました。そうですね、職員を含めセンターで学び・気づき・エンパワメントされた一人ひとりが、今どういうことを考え感じているのか、お互い対話する時期にきているのかもしれない。みなさん“男女共同参画の森で語り合おう” (竹森まゆみ)

『Fine』(No.31)を読んでの ご意見、ご感想をお寄せください

〒598-0005 泉佐野市市場東1丁目295-1
いずみさの女性センター
TEL・FAX / 072-469-7125
Eメール / hitohito@city.izumisano.lg.jp